

タイトル 富山だって恐竜・負けてません！

サブタイトル 富山県は恐竜化石王国、知ってたかな！



課題に回答

課1：歴史・水辺・緑を活かしてまちの中心における憩いと楽しみの空間を形成し、来街者・従業者・居住者のウェルビーイングを向上させるエリア

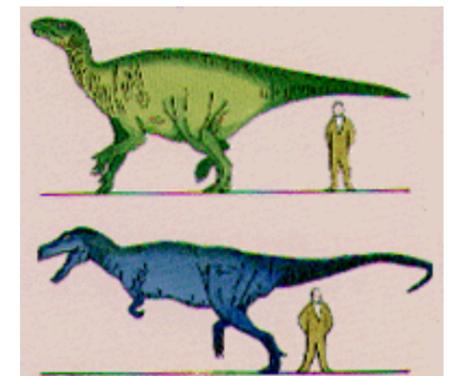
回1：今回は人間でなく、恐竜の歴史とした。基本は急流公園、張りぼて恐竜のジャングルジム、恐竜の水飲み場をイメージした噴水床、屋根に芝生を張った恐竜化石資料館及び多目的ホール！こども相手の施設だが、大人がくっついてくるだろうし、こどもが（恐竜嫌いな子供いる？）幸福ならば、大人が幸福なのだ！

課2：まちなかの連続性・回遊性を高めてまちをシームレスにつなぐとともに、周辺街区に賑わいの好循環をもたらすエリア

回2：恐竜といえば、福井県のイメージが強い（年間80万人らしい）が、富山にある国の施設、富山市の施設の結びつけるストーリーが今までなかった、県をあげて、恐竜を盛り上げる施設（公園）があっ手もおかしくないはず。地図でもわかるようにこれだけの恐竜関連の施設があることを、県民、県外の人が知らないのはもったいないコンテンツで、利用しない手はない。

課3：公有地を舞台に県内外の多様なプレイヤーが集まり、産学官民連携や人々の交流が積極的に行われ、富山のまちの核として求心力と発信力を生むエリア

回3：都道府県庁前の公園にイメージはどこも、大人向けである。夏休みで県庁が休みでも、前が子供の遊び場になっているのめずらしいだろうし、このくらい大胆なコンセプトの県庁前公園も、面白い、それが県の発信力となる！子供目線とは、どういうことか！歴史に基づいて、この仮名 検討前・恐竜化石公園が富山らしいと思う。



イメージ配置図・平面図



多目的ホール

恐竜か先資料館

建物仕様
 躯体コンクリート
屋根仕上げ
 芝生
内装
 県産木材

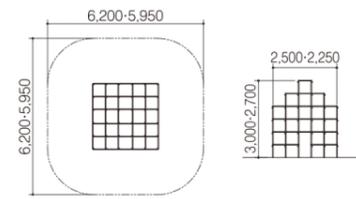
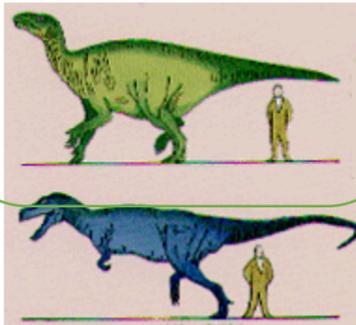
地面
 急流時代の土の
 課jを出す

噴水床
 タイルは急流の化石をイメージした
 タイル



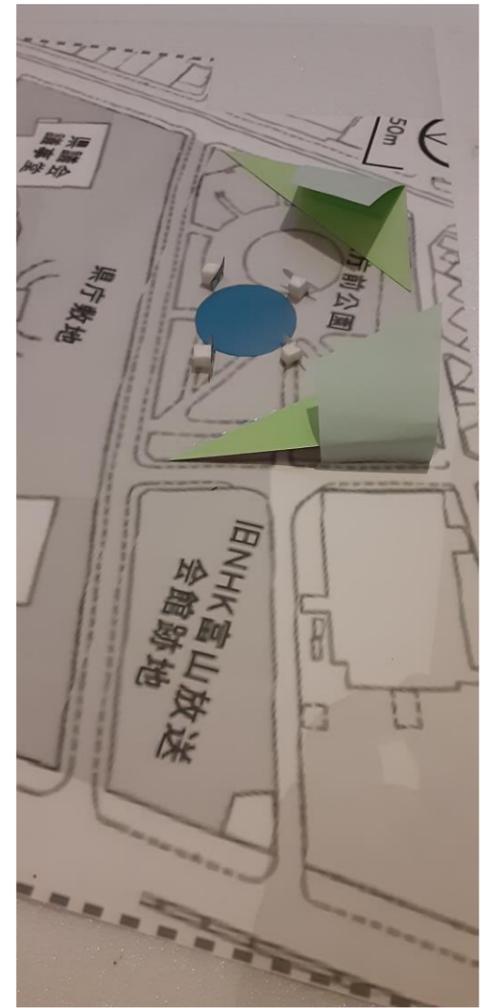
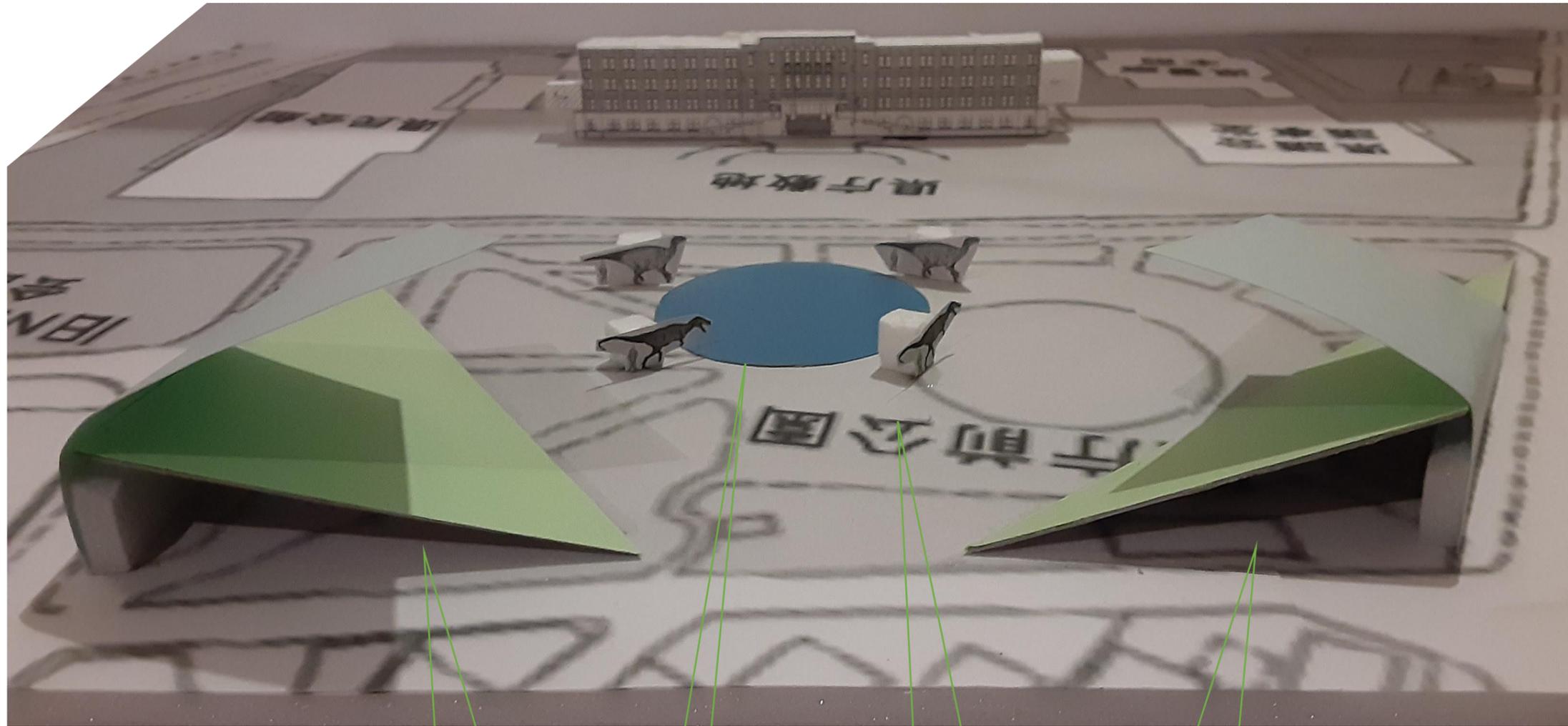
駐車スペース
 キッチンカー
 スペースも含む

張りぼて恐竜+
ジャングルジム
 (通常の2倍の
 高さレベル)



恐竜の足跡化石
 富山市(旧大山町) 亀谷では手取層群の2つの地層から、イグアノドン
 のなかまの足跡と、メガロサウルスのなかまの足跡の化石が発見されています。

イメージ模型



建物仕様
 躯体 コンクリート
 屋根仕上げ 芝生
 内装 県産木材
 屋根 布

多目的ホール

噴水床

急流ジャングルジム

恐竜化石資料館

